

発刊にあたって

おいでませ！山口国体下松市実行委員会会長

下松市長 井 川 成 正



平成23年10月1日から10月11日までの11日間にわたって開催された東日本大震災復興支援第66回国民体育大会「おいでませ！山口国体」は、全国各地から多くの選手・監督をはじめ大会関係者の皆さんをお迎えし、数々の感動とすばらしい成果を残して、大成功のうちに幕を閉じることができました。

これもひとえに、御尽力をいただいたすべての皆様の御支援、御協力の賜物と心から深く感謝申し上げます。

下松市では、正式競技としてバスケットボール競技（成年男子・成年女子）、デモンストレーションとしてのスポーツ行事として武術太極拳が開催されました。連日心のこもった声援の中、トップアスリートの迫力あるプレーや白熱した戦いが繰り広げられ、被災地のみならず全国に向けて勇気と希望、そして元気を送る大会となりました。

また、バスケットボール競技の成年女子では、「民泊」を取り入れて実施いたしました。民泊をお引き受けいただきました各地区の民泊協力会の皆様には、地域ぐるみで、「おいでませ！」の気持ちを込めた人情あふれる日本一のおもてなしをしていただき、選手と地域が一体となった心に残る実りの多い大会になったと感じております。

競技会場では、熱気あふれる応援で大会を盛り上げ、選手たちに大きな力を与えていただきました。選手たちの笑顔と涙は地域の皆様との絆の証であり、各地に出会いと交流の輪が広がりました。このような貴重な体験は、地域の連帯、絆をより深くするとともに新たな交流の礎を築くことができたものと思っております。

今後は、今大会を契機として培われた多くの財産を継承・発展させ、21世紀は心の時代と捉え「笑い・花・童謡」を3本の柱とした、人情あふれる心豊かなまちづくりを推進する原動力として活かしてまいりたいと考えております。

終わりに、「おいでませ！山口国体」の夢と感動がいつまでも市民の皆様の心に残り続けるとともに、この報告書が大会の貴重な記録・資料として幅広く活用されることを祈念しまして、発刊のことばといたします。